

創造的復興への想い (1) 絶望も希望のはじまり

働きの出来事が、休眠中の「安弘思遊記 (あんこうしゆうぎ)」を起こしました。未曾有のあまりにも無残なる被災地の広がり。

百年の大木が根こそぎにされた。集落の記憶が根がやしにされた。

人々の記憶の回復と希望の大木を再創造できるように地域の風土にあったエンガワのある住まいコミュニティづくりの実現は如何にして可能であろうか？

遠方から何が出来るのか。

渾身の力をこめて生きることに向かう方々に絶望も希望のはじまりと思えるような「計画復興」のイメージを何とかしぼり出した。

それは「計画停電」のような「実施する」「しない」の説明が二転三転する計画の名に値しないものではないように・・・。

ドイツの絵本『ぼくの庭ができたよ』(ゲルダ・ミュラー作)にでてくる荒れはてたまち中の家の庭を家族みんなで整えようとする場面。

子どもたちが口々に「こんな花を」「あんな緑を」というとき母親が「それじゃ計画的にやらなきゃネ」という。

計画とは本来ひとりひとりの願いをゆるやかにつなぎ部分も全体も輝やくプロセスづくりのこと。

家を失い肉親の安否も知れぬまま避難生活を送る被災者ひとりひとりの「こんな住まいを」「こんなまちを」の復興へのネガイを束ね響きあわせながらやがて希望にみちた集まり住みあうカタチにする過程を真の計画としてくみだてられるような案を色々と考えてみたい。

まちの縁側育くみ隊としての知恵を傾けていきたい。

延藤安弘

"縁側"に行きたくなる インフォメーションペーパー ENGAWA NEWS



ENGAWA NEWS 2011年4月号
発行：NPO法人まちの縁側育くみ隊
〒461-0002 名古屋市東区代官町29-18
柴田ビル1階 まちの縁側MOMO内
TEL&FAX：052-936-1717
E-mail：info@engawa.ne.jp

4月カレンダー

OPEN: 月・水・金13:00~17:00

月	火	水	木	金	土	日
				(E)岐阜市		(E)[10:00] 神戸市真野地区まちづくり会館竣工式
				1	2	3
			[18:00] 長者町カルタ語り大会	(E)[17:00] ASU延藤研ゼミ		
4	5	6	7	8	9	10
(E)[11:10] 愛知淑徳大学Lec. (E)[13:30] 同semi	[14:00] 錦二丁目まちづくり連絡協議会	(N)[18:30] NPO来年度事業計画		(E)長野市ボランティアセンター小林さんを囲む会	(E)同	
11	12	13	14	15	16	17
(E)[11:10] 愛知淑徳大学Lec. (E)[13:30] 同semi					(E)[17:00] ASU延藤研ゼミ	
18	19	20	21	22	23	24
(E)[11:10] 愛知淑徳大学Lec. (E)[13:30] 同semi	(N)[10:00] ゴジカラ村ミクスチャーハウスシンポジウム					
25	26	27	28	29	30	

まちの会所 MACHI no KAISHO



まちの会所
愛知県名古屋市中区錦2-6-13
長者町あびすビルPart3・2階
アクセス
名古屋地下鉄桜通線丸の内駅下車
5番出口より徒歩3分
問い合わせ先
担当：名畑
TEL&FAX：052-201-9878
E-Mail：info@engawa.ne.jp
HomePage：
<http://www.kin2.bpl.jp/index.html>

大久保康雄の風の記憶

大久保康雄が感じる場の世界・詩の世界の表現のカタチ

『小暮写真館』

最近読了した本がある。宮部みゆきさんの『小暮写真館』。私は宮部さんの熱心な愛読者ではないものの、それでも何冊かは読んでいて、人物の造形とか物語の運び方が巧みな作家さんだということは知っていた。また、ミステリ作家でもあるので伏線の張り方も巧い。

ハッピー商店街という寂れた商店街にある古びた『写真館』に引越してきた花菱家の長男・高校生の英一が、この連作物語の主人公であり、語り手だ。英一の両親は夫婦揃って少し変わった人物で、その商店街にあるST不動産の紹介で、ご主人が亡くなり、誰も住み手がなくなった古い写真館を買い、「小暮写真館」という看板も、写真スタジオだった店舗の部分も、面白いという理由からそのまま使って

いた。しかし、この小暮写真館には以前の持ち主・小暮老人の幽霊が出るという噂があり、両親はそれを承知で購入したのだ。やがて英一のもとに次々と不思議な写真が持ち込まれるようになり、英一の幼なじみや弟の光、ST不動産の社長さん、ワケアリの不動産屋の女性事務員等を巻き込んでの「不思議な写真の謎」解明のための捜査が始まる…。英一が次々と持ち込まれる不思議な写真の謎の解明に熱心になるのは、ある理由があった。花菱家には英一と光の間に風子という女の子がいたのだが、5年前にインフルエンザのために亡くなっていたのだ。そしてその責任を家族の誰もが感じ、密かに苦しんでいたのである…。

ややもすると重い話になりがちな物語を、宮部さんの巧みな筆運びのため

に重くは感じられず、グイグイという感じで読める。また、ホラーやミステリの要素ばかりでもなく、英一の成長物語、淡い恋愛小説の要素もあり、ユーモアや人生観も散りばめられている。また、家族の物語としても読める。本の帯に「物語のすべてが詰まった700ページの宝箱」と謳われていたが、それはオーバーでもなんでもなかった。いま私が一番お薦めしたい一冊である。



大久保康雄

(オオクボヤスオ)

まちの縁側育くみ隊の理事であり、紙芝居集団・風穴一座座長を務めるなど、多種多様な顔をもつチェアウォーカー

ジネンカフェ vol.049

日時：4月2日(土)

14:00~16:00

テーマ：街・ひと・出会い、
育まれてゆく私

ゲスト：山本寿子さん

(瑞穂区障害者地域生活支援
センター相談員)

場所：くれよんBOX

名古屋市昭和区小桜町3-11

羽ね屋敷1階

参加費：300円(カフェ代別途)

主催・共催：NPO法人まちの縁側育く
み隊

かたひらかたろう

くれよんBOX

ゲストより一言：

いろんな出会い・経験を通して自分の価値観が少しずつ変わっていくのを感じます。まちななかの意識も変わって、みんなで暮らしやすくなるといいな～・・・と思いつつながら日々コツコツ働いています。

ゲストプロフィール：

石川県生まれ。大学進学がきっかけで名古屋に来る。大学では社会福祉を勉強。大学生の頃に縁あって、名古屋市総合リハビリテーションセンター内の生活支援相談室(現、瑞穂区障害者地域生活支援センター)にてボランティアを行い、それがきっかけで福祉の仕事に興味を持つ。現在は瑞穂区障害者地域生活支援センターで相談員として働いています。

ジネンカフェ vol.049

4月2日(土)
14:00 ~ 16:00

街・ひと・出会い、育まれてゆく私

いろんな出会い・経験を通して自分の価値観が少しずつ変わっていくのを感じます。入っている可能性を持っていておもしろいですね。まちななかの意識も変わって、みんなで暮らしやすくなるといいな～・・・と思いつつ日々コツコツ働いています。

ゲスト
山本寿子
瑞穂区障害者地域生活支援センター
相談員

石川県生まれ。大学進学がきっかけで名古屋に来る。大学では社会福祉を勉強。大学生の頃に縁あって、名古屋市総合リハビリテーションセンター内の生活支援相談室(現、瑞穂区障害者地域生活支援センター)にてボランティアを行い、それがきっかけで福祉の仕事に興味を持つ。現在は瑞穂区障害者地域生活支援センターで相談員として働いています。

参加費：300円(カフェ代別途)

場所：くれよんBOX

地下鉄新栄駅南口
(エレベーター)より徒歩5分。
〒466-0012
名古屋市内瑞穂区小桜町3-11 羽ね屋敷1階
Tel 052-733-5565
http://www.yepin-box.jp/machim



～お問い合わせ・申し込み先～
NPO法人 まちの縁側育くみ隊
名古屋市東区代官町29-18
栄区2丁目1番 まちの縁側育くみ隊NPO
Tel/Fax 052-936-1717
E-mail okubo@engawa.ne.jp

主催・共催 NPO法人まちの縁側育くみ隊、かたひらかたろう、くれよんBOX